

令和2年度(2020)事業報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

〔認定特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会〕

1. 事業実施

★ コロナウイルス禍、がじゅまるの家は閉鎖することなく稼働、他事業は制限はあったが実施できた。

- 【1】ファミリーハウス「がじゅまるの家」運営：理念に添った運営を目指し、利用者が心身共に安らげる滞在施設となるよう努めた。PCシステムの本格始動に向けて、データ入力に取り組んだ。コロナ禍、利用者は4割減少した。多くのご支援（マスク、消毒液、食品等）を頂いた。県立図書館一括貸出継続利用により、保護者向けの本の充実を図った。
- 【2】病院ボランティアに関する事業は、今年度も民間福祉基金の助成を頂いた。コロナ禍にあつて、8月の講座は中止、2月に感染拡大防止を徹底して第29期養成講座を実施した。スキルアップのための勉強会もコロナの影響で中止した。令和2年度は、琉大病院のボランティア活動は休止となった。
- 【3】広報事業は、毎月のホームページの更新、会誌発行等により広報に努める。「認定NPO法人」取得により、税法上の優遇措置が受けられる事を積極的に周知し、資金調達に努めた。
- 【4】その他、目的達成事業 ◎今年度も県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）の委託を受けたが、コロナの影響で病院での活動は制限され、6・7月のみ実施、各団体での活動となった。初級編・ステップアップ編のセミナーはオンラインで実施した。また、きょうだい会を設立し、きょうだい支援のための勉強会を実施した。
- ◎令和2年度合同クリスマス会は、金秀青少年育成財団助成を頂き、コロナ感染予防に配慮して、小児保健センター駐車場にてドライブスルーにより実施した。◎今年度も医療センターに入院するこどもたちを元気づけるための、こども病院ラジオ（キラキラぶればランド）の提供をエフエム那覇の協力により実施した。
- ◎夢プロジェクトは、名護市との対話における企画提案を基に名護市の事業者公募に応募予定であったが、コロナの影響で実施されなかった。◎資金造成を目的にチャリティーコンサートを予定していたが中止した。

2. 事業の実施に関する事項

【1】特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
遠隔地病児家族等の宿泊施設運営事業	ファミリーハウス「がじゅまるの家」受託運営	4月～3月 24時間体制	ファミリーハウス「がじゅまるの家」	12人	病児とその家族、ハウスマップ 他	9,174
病院ボランティアに関する事業	病児家族の支援活動をする病院ボランティア養成講座(第29・30期)の開講	2月	県小児保健センター 大ホール	5人	一般市民・学生 60人	201
	病院ボランティアの活動支援と活動中のボランティアのスキルアップのための勉強会 中止	中止			病院ボランティア 100人	0
広報事業	ホームページ管理・更新	5月・通年	わらびの会事務局	2人	会員・医療関係者・一般市民	87
	わらびの会だより発行	8月	わらびの会事務局	5人	会員・関係機関・一般市民	348
その他、目的達成事業	ピアサポート活動実施	6月・7月	医療センター・北部病院・名護療育医療センター・わらびの会	延べ45人	子育て及び病児家族、	298
	ピアサポートセミナー及び勉強会開催	11月	沖縄小児保健センター	10人	わらびの会 会員他 60人	688
	こども病院ラジオ（キラキラぶればランド）	毎月2回、	こども医療センター	5人	医療センター入院中病児家族・ハウス利用家族	529
	合同クリスマス会開催	12月	こども医療センター	80人	わらびの会・入院中の病児ときょうだい 110人	105
	がじゅまるの家預かり保育	11月	がじゅまるの家	2人	がじゅまるの家利用家族	9
	夢プロジェクト 中止				会員・一般市民	0

【2】その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自動販売機による飲料水販売事業	調整中					-